

3. 共催展など

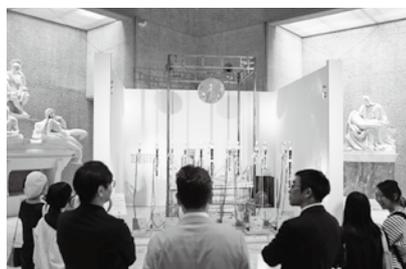
清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017

会 期 2017(平成29)年4月15日(土)から6月11日(日)まで
 観 覧 料 無料
 主 催 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会、岐阜県
 助 成 公益財団法人 田口福寿会
 協 賛 大垣共立銀行、十六銀行
 出品点数 15点(応募件数790件)
 観覧者数 35,239人

岐阜県では、想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とした企画公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」を初開催した。これは、美術活動の振興及び普及を目的に、昭和21年から平成27年まで69回の歴史を刻んできた「岐阜県美術展(県展)」の刷新に伴うものである。

「幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6m」のキューブ空間に、今回のテーマである「身体のゆくえ」を自由に表現(制作・展示)するもので、各界第一線の審査員によって選ばれた15組のアーティストが、制作支援(入選賞金50万円、制作・展示に関する技術的な支援等)を受けながら、作品制作を行った。本事業は、引き続き、3年に1回のペースで開催していく予定である。

反響は大きく、海外を含め予想を上回る790件の応募があり、約3万5千人という多くの方に観覧いただくことができた。これは、個性的な審査員や、高額な大賞賞金、CUBEという設定のユニークさなどにより、多くのアーティストの注目を集めた結果ではないかと考える。入選した15組のアーティストには、岐阜県の文化芸術事業に関わるなど、岐阜県とのつながりを大切にしつつ、本展から次世代のトップアーティストが生まれるよう、継続的に取り組んでいきたい。



6月10日 学芸員によるCUBE TOUR

清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 出品リスト

No.	作家名	(生年または結成年-没年)	作品名	制作年
1	佐藤 雅晴	(1973-)	HANDS	2017
2	柴山 豊尚	(1955-)	ニョッキ(如木)2017	2017
3	谷本 真理	(1986-)	この部屋とダンス	2017
4	中村 潤	(1985-)	縫いの造形	2017
5	平野 真美	(1989-)	蘇生するユニコーン	2017
6	堀川 すなお	(1986-)	モノについて	2017
7	松本 和子	(1988-)	透明の対話	2017
8	三枝 愛	(1991-)	庭のほつれ	2017
9	三木 陽子	(1963-)	Conduit(導管)	2017
10	水無瀬 翔	(1984-)	DEMO DEPO イン・ザ・キューブ支店	2017
11	耳のないマウス	(2015-)	移動する主体(カタツムリ)	2017
12	宮原 嵩広	(1982-)	Missing matter	2017
13	ミルク倉庫+ココナッツ	(2015-)	cranky wordy things	2017
14	森 真人	(1950-2018)	Mimesis Insect Cube	2017
15	安野 太郎	(1979-)	THE MAUSOLEUM -大霊廟-	2017

関連プログラム

日程	曜日	時間	タイトル	講師・出演等	場所	人数
4月15日	土	13:30~15:30	O JUN・中原浩大×大賞・審査員賞 受賞者クロストーク	O JUN、中原 浩大	講堂	120
4月16日	日	14:00~15:30	日比野克彦館長による公開講評会	日比野 克彦	展示会場	150
4月21日	金	18:00~19:00	学芸員によるCUBE TOUR	鳥羽 都子	展示会場	30
4月23日	日	14:00~15:30	森村泰昌講演会「身体ゆくえ」	森村 泰昌	講堂	150
4月29日	土・祝	14:00~	谷本真理公開制作 「粘土のインスタレーション」	谷本 真理	展示会場	45
5月3日	水・祝	14:00~17:00	平野真美 「ユニコーン公開メンテナンス」	平野 真美	展示会場	50
5月6日	土	14:00~16:00	青空トーク	十一代大樋長左衛門(年雄)、 三輪 真弘	庭園	150
5月7日	日	14:00~15:00	中村潤「裁縫鳥になろう！」	中村 潤	庭園	35
5月13日	土	14:00~15:00	安野太郎「ゾンビ音楽演奏会」	安野 太郎	多目的ホール	113
5月19日	金	18:00~19:00	学芸員によるCUBE TOUR	鳥羽 都子	展示会場	25
5月20日	土	15:00~16:30	田中泯講演会「田中泯はどのよう に美術に関わってきたか？」	田中 泯	講堂	230
5月21日	日	14:00~16:00	耳のないマウス 「アート×テクノロジー」	耳のないマウス	スタジオ	10
5月27日	土	13:00~16:00	松本和子 「フレスコ画ワークショップ」	松本 和子	スタジオ	10
5月28日	日	13:00~16:00	松本和子 「フレスコ画ワークショップ」	松本 和子	スタジオ	
6月3日	土	14:00~16:00	高橋源一郎講演会「芸術の未来」	高橋 源一郎	講堂	300
6月4日	日	11:00~12:00、 14:00~15:00	森真人 「ムシの日に虫をつくろう！」	森 真人	庭園	70
6月10日	土	14:00~15:00	学芸員によるCUBE TOUR	鳥羽 都子	展示会場	35
6月11日	日	10:00~17:00	Artists IN THE CUBE	出展作家	展示会場	70
4月15日~ 6月11日	土日祝	11:00~16:00	水無瀬翔「DEMO DEPOで働こ う！」	水無瀬 翔	展示室	-
4月15日~ 6月11日	土日祝	10:00~18:00	3Dペンワークショップ	-	資料サービス コーナー	720

岐阜県青少年美術展

会 期 2017(平成29)年6月24日(土)から7月2日(日)まで
 観 覧 料 無料
 主 催 岐阜県
 後 援 岐阜県教育委員会 (一社)高山市文化協会 (公財)多治見市文化振興事業団
 岐阜県高等学校文化連盟
 共 催 多治見市 高山市
 応募点数 青年部1,538点 少年部40,313点
 観覧者数 青年部2,974人 少年部6,910人
 多治見移動展1,374人 高山移動展727人

本県美術の普及と創造的表現力を開発するために、広く県内から作品を公募し一般に公開するものである。平成29年度の総観覧者数(11,985人)は、平成28年度(10,536人)と比較すると1,500人近く増加している。出品校数は、青年部が74校から70校に、少年部が318校から326校と、青年部と少年部を合わせると横ばい傾向にある。

入賞入選点数

【青年部】

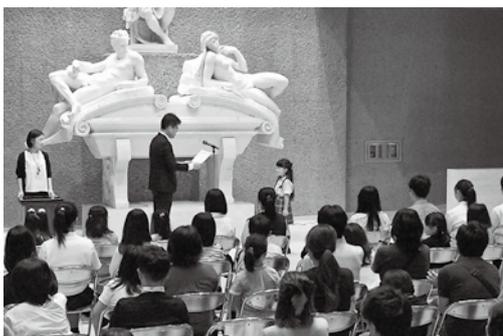
部 門	応募点数	入賞点数		入選点数	展示点数
		最優秀賞	優秀賞		
絵 画	183	1	5	30	36
デザイン	256	1	5	44	50
立体造形	20	1	1	3	5
書 道	634	3	16	99	118
写 真	445	3	11	71	85
合 計	1,538	47		247	294

ナンヤローネ賞(岐阜県美術館長選定賞)…13点

【少年部】

部 門	区 分	応募点数	入賞点数		入選点数	展示点数
			最優秀賞	優秀賞		
絵 画 デザイン	幼・保	6,543		32	115	147
	小学校	23,261	6	48	368	422
	中学校	7,872	3	23	139	165
書 写	幼・保	152		3	5	8
	小学校	2,080	6	19	87	112
	中学校	405	3	8	34	45
合 計		40,313	151		748	899

ナンヤローネ賞(岐阜県美術館長選定賞)…37点



6月25日 表彰式



6月30日 ナンヤローネ賞公開選定

IAMAS ARTIST FILE #05 前林 明次 場所をつくる旅

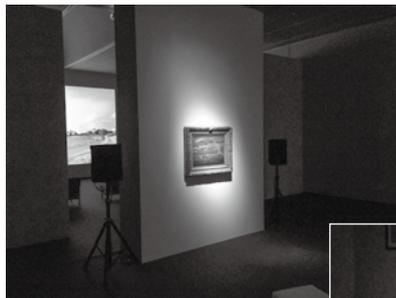
会 期 2017(平成29)年7月22日(土)から8月20日(日)まで
 観 覧 料 一般 330円(270円)、大学生 220円(160円)、高校生以下無料
 主 催 情報科学芸術大学院大学[IAMAS]、岐阜県美術館
 出品点数 4点
 観覧者数 3,996人

情報科学芸術大学院大学教授の前林明次は、身体と環境のインターフェイスとして「聴覚」や「音」をとらえ、そこに技術的に介入することで知覚のあり方を問いなおす作品を発表してきた。本展では現在の前林のプロジェクト研究「これからの創造のためのプラットフォーム」を紹介した。岐阜県美術館の代表的な収蔵作家・山本芳翠による《琉球漁夫釣之図》(1887-88年頃)を起点に、この絵の描かれた場所を訪れ、音を録り、その絵に重ねることで、明治時代の沖縄の風景画をアップデートした。フィールドワークの手法を取り入れることで、過去から現代に新たに立ち現れる「場所」を考察した。

本展に合わせて前林はゲストを呼んでレクチャーをシリーズで開催した。開催日初日7月22日には、岐阜市内のカフェ&アートスペースnakaniwaで詩人の菅啓次郎と同大教授小林昌廣の、23日には館内講堂で同大講師伊村靖子と本展担当学芸員、30日には映像人類学の川瀬慈、8月11日にはフィールドレコーディストの柳沢英輔と同大准教授松井茂によるトークイベントが繰り広げられた。

IAMAS ARTIST FILE #05 前林明次 場所をつくる旅 出品リスト

No.	作家名	(生年-没年)	作品名	制作年	材質	寸法(cm)、(上映時間)
1	前林 明次	(1965-)	沖縄海岸風景アップデート	2017	映像	可変、(9分02秒)
2			6 walks with metronome	2017	スピーカー(6台)、電子メトロノーム	可変、(13分10秒)
3			《琉球漁夫釣之図》のための沖縄音響合成	2017	4chサウンドシステム	可変、(16分32秒)
4			沖縄海岸風景一糸満	2017	映像	可変、(11分55秒)
参考 作品	山本 芳翠	(1850-1906)	琉球漁夫釣之図	1887-88頃	油彩、画布	45.5×60.7



7月30日 トークイベント「記録・アート・境界」川瀬慈



8月11日 トークイベント「音・場所・表象」松井茂(左)、柳沢英輔(中央)、前林明次(右)

第9回円空大賞展

会 期 2018(平成30)年2月2日(金)から3月11日(日)まで

観 覧 料 一般 800円(700円)、大学生 600円(500円)／高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

主 催 岐阜県、岐阜県美術館

後 援 円空連合、岐阜県教育委員会、朝日新聞社、NHK岐阜放送局、岐阜新聞・ぎふチャン、共同通信社岐阜支局、
産経新聞社中部総局、CBCテレビ、時事通信社岐阜支局、中京テレビ放送(株)、中日新聞社、中部経済新聞社、
東海テレビ放送、日刊工業新聞社名古屋支社、日本経済新聞社名古屋支社、フジサンケイビジネスアイ、
毎日新聞中部本社、メ〜テレ、読売新聞社

出品点数 51点(うち円空仏10点)

観覧者数 3,707人

江戸時代の修行僧円空は人々の心を癒し続け、単純稚拙の作品の美やそこから感じる人間らしさ、慈愛の精神は、深い感動と安らぎを与える。

岐阜県では、円空仏の「独創性」や円空の「慈愛の精神」を、本県の個性ととらえ、平成11年度に円空大賞を制定し、円空を連想させる顕著な業績をおさめている現代作家を5名選考し、顕彰するとともに県内の円空仏と併せて作品を展示している。

岐阜県美術館での展示等によって、県民に優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、円空のよさを広く発信することで、郷土への誇りや愛着を醸成するものである。

本展では、下呂市の円空仏10体と5人の作家作品を対峙させる展示にしたことで、円空仏と展示作品のつながりが、より明確に伝わるようになった。

また、海外作家の滞在制作を行い、多目的ホールに迫力のある作品を展示できた。関連イベントでは、音楽・舞踏・映画・トークショー・ワークショップ等をバランスよく組むことで、様々な形で芸術に触れる機会を提供できた。

91%の観覧者が満足したと回答しており、初めて訪れた方も21%いるため、新たな集客にもつながっているといえる。

第9回
円空大賞展

Enku Grand Award Exhibition

円空大賞
エンリクオオリベイヤ
円空賞
佐藤 昌宏
庄司 達
土屋 仁成
宮本 勉

Spirit of ENKU

2018年
2月2日(金)→3月11日(日)
祝賀式・開式は2月2日(金)13:30より、2月2日(金)は14:30開場

観覧時間 10:00~18:00(入場は17:30まで)
休館日 2月5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)、3月5日(月)
観覧時間延長 2月16日(金)は18:00まで(観覧人数は18:30まで)
2月27日(火)、28日(水)は、所蔵品展示室のみ休室します。
観覧料 一般 800円(700円) 大学生 600円(500円) 高校生以下無料
17歳以下は100円(50円)
※本館から徒歩5分、岐阜県内・岐阜県外一律観覧料半額の割引も実施しています。
※2018年2月16日(金)のみ、岐阜県内・岐阜県外一律観覧料半額の割引も実施しています。
主催 岐阜県、岐阜県美術館
後援 円空連合、岐阜県教育委員会、朝日新聞社、NHK岐阜放送局、岐阜新聞、ぎふチャン、
産経新聞社中部総局、CBCテレビ、時事通信社岐阜支局、中京テレビ放送(株)、中日新聞社、
中部経済新聞社、東海テレビ放送、日刊工業新聞社名古屋支社、日本経済新聞社名古屋支社、
フジサンケイビジネスアイ、毎日新聞中部本社、メ〜テレ、読売新聞社

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu



第9回 円空大賞展 出品リスト

作家名	作品名	技法・素材	制作年	寸法(高さx横幅x奥行、または縦x横)cm	所蔵	
エンリケ・オリベイラ	道半ば	ベニヤ板	2018	524x663x183	作家蔵	
	守り人	ベニヤ板、厚紙、接着剤	2018	219.5x75x60	作家蔵	
佐藤 昌宏	六道輪廻	混合技法、パネル、墨	1978	130x162	作家蔵	
	孵化	混合技法、パネル	1978	53x65.2	作家蔵	
	六道輪廻	デッサン、インク、木炭紙	1977	50x65	作家蔵	
	十六児童図	混合技法、キャンバス	1984	33.3x24.2 16点	作家蔵	
	呪術師の森	混合技法、墨、キャンバス	1985	194x259	個人蔵	
	夢中遊戯Ⅰ	混合技法、墨、キャンバス	1986	181.8x227.3	作家蔵	
	夢中遊戯Ⅱ	混合技法、墨、キャンバス	1986	181.8x227.3	作家蔵	
	あそぶ子どものこえきげば	混合技法、墨、キャンバス	1987	181.8x227.3	作家蔵	
	病草紙昭和六拾巻	樹脂テンペラ、キャンバス	1987	181.8x227.3	作家蔵	
	水の杜	混合技法、キャンバス	1993	194x194	作家蔵	
	地のいきもの(孔雀浄土)	樹脂テンペラ、キャンバス	2010	194x162	作家蔵	
	地のいきもの(孔雀浄土)	樹脂テンペラ、キャンバス	2012	227.3x181.8	作家蔵	
	地のいきもの(曼荼羅)	樹脂テンペラ、キャンバス	2012	227.3x181.8	作家蔵	
	地のいきもの(彼方へ)	樹脂テンペラ、キャンバス	2012	227.3x181.8	作家蔵	
	地のいきもの(池のほとりで)	樹脂テンペラ、キャンバス	2016	162x194	作家蔵	
	地のいきもの(湧出)	樹脂テンペラ、キャンバス	2016	162x194	作家蔵	
	庄司 達	地のいきもの	樹脂テンペラ、キャンバス	2016	112x145.5	作家蔵
地のいきもの		樹脂テンペラ、キャンバス	2017	181.8x227.3	作家蔵	
地のいきもの		樹脂テンペラ、キャンバス	2017	181.8x227.3	作家蔵	
Navigation-Arch No.10 (空間の誘導・アーチNo.10)		白色布(ポリエステル 綿 麻) 組紐 木材(米杵材に染色)	2018	25x1200x420	作家蔵	
Navigation-Arch Mini 2016 (空間の誘導・ミニ 2016)		白色布(ポリプロピレン) 白糸 桧材に染色 集成木材板	2016	30x110x40	作家蔵	
Navigation-Flight Mini 2017 (空間の誘導・飛行・ミニ 2017)	白色布(ポリプロピレン) 白糸 桧材に染色 集成木材板	2017	27x102x30	作家蔵		
Navigation-Level Mini 2018 (空間の誘導・水平・ミニ 2018)	白色布(ポリプロピレン) 白糸 桧材に染色 集成木材板	2018	35x80x45	作家蔵		
土屋 仁応	竜	木彫、彩色、ポロシリケートガラス	2015	80x49x30	株式会社 ヨシユキサービス	
	獅子	木彫、楠、ポロシリケートガラス、彩色	2016	98x83x45	一般財団法人 軽井沢ニュー アートミュージアム	
	聖観音菩薩像	木彫、彩色、榿、樟、檜、水晶	2014	118x35x35	大聖寺(沼津市)	
	青い人魚	木彫、榿、彩色、水晶	2009	8.5x64x18	個人蔵	
	人魚	木彫、榿、彩色、水晶	2009	19.5x37x12	個人蔵	
	金の猫	木彫、彩色、榿、ポロシリケートガラス	2017	40x43x23	個人蔵	
	異端児	木彫、彩色、榿、水晶	2016	27x30x19	メグミオキタギャラリー	
	麒麟	木彫、彩色、榿、水晶	2018	40x30x15	作家蔵	
	宮本 勉	無題	塑像、紙粘土	2001	98x27x27	作家蔵
		無題	木彫、木材	2006	148x51x40	作家蔵
無題		立体造形、紙コップ	2003	33x49.5	作家蔵	
無題		木彫、木材	2006	60x20x5	作家蔵	
無題		木彫、木材	2004	15x3x2	作家蔵	
無題		陶	2001-2017	53x18x18	作家蔵	
円空	青面金剛神像	木彫		像高49.6	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	青面金剛神像	木彫		像高56.5	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	熊野大権現像	木彫		像高27.8	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	稲荷大明神像	木彫		像高21	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	神像白山妙理大権現像	木彫		像高53	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	立山大明神像	木彫		像高18	下呂温泉合掌村円空館寄託	
	阿弥陀如来像	木彫		像高24	温泉寺(下呂市)	
	宇賀神像	木彫		像高15.5	温泉寺(下呂市)	
	善女龍王像	木彫		像高55	温泉寺(下呂市)	
	善財童子像	木彫		像高51	温泉寺(下呂市)	